

環境調査結果のお知らせ

平成30年6月15日午前9時半から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温22~24℃、塩分30~34、溶存酸素量7~8mg/lでした。
透明度は5~6mで、有毒種のアレキサンドリウム属、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデス、カレニア・ミキモイが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温22.0~23.8℃、塩分30.0~33.7でした。
前回調査時(H30.5.29)と比較して、水温は全層で1.6~2.2℃上昇しました。塩分は全層で0.3~0.8低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.7~7.8mg/lでした。
前回調査時(H30.5.29)と比較して、表層で0.2mg/l減少し、5m層から底層で0.1~0.4mg/l上昇しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.9~6.4mでした。
検鏡の結果、有毒種のアレキサンドリウム属が最高で12cells/ml、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で14cells/ml、カレニア・ミキモイが最高で1cell/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

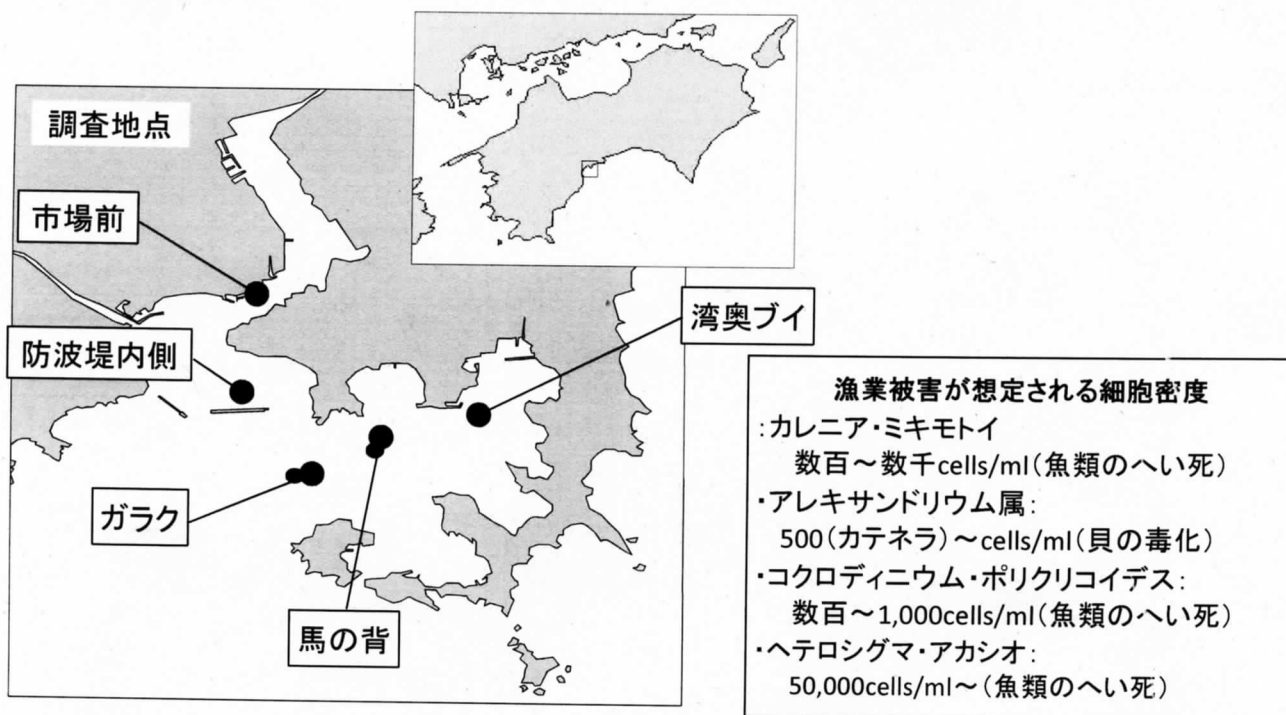


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H30.5.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	23.7	23.6	23.2	23.0	23.5	21.9	1.6	23.4
2m	23.7	23.6	23.2	23.1	23.5	21.8	1.7	23.3
5m	23.8	23.6	23.3	23.4	23.5	21.3	2.2	23.1
10m	22.6	23.0	23.3	23.2	23.0	21.0	2.0	22.9
B-1m	22.1	22.0	23.0	22.8	22.4	20.3	2.1	22.7

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H30.5.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.9	32.9	32.4	30.0	32.7	33.5	▲ 0.8	31.8
2m	33.0	32.9	32.7	32.0	32.8	33.5	▲ 0.7	32.3
5m	33.1	32.9	32.9	32.8	33.0	33.6	▲ 0.6	32.7
10m	33.5	33.3	32.9	33.0	33.2	33.7	▲ 0.5	33.1
B-1m	33.7	33.7	33.2	33.2	33.5	33.8	▲ 0.3	33.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H30.5.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.6	7.3	7.1	7.7	7.3	7.5	▲ 0.2	7.5
2m	7.5	7.5	7.0	7.8	7.3	7.3	0.0	7.6
5m	7.4	6.8	6.9	7.6	7.1	7.0	0.1	7.2
10m	6.9	6.9	6.8	7.3	6.9	6.7	0.2	6.6
B-1m	6.9	6.8	6.7	6.7	6.8	6.4	0.4	6.5

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	市場前
水深	16.9	23.2	15.3	14.6	11.7
透明度	5.8	6.2	6.4	4.9	3.7
前回(5/29)	4.0	4.5	4.0	3.5	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	アレキサンド リウム属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ヘテロシグマ・ アカシオ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	5	0	0	1,100
	2m	0	3	0	0	1,200
	5m	1	5	0	0	600
馬の背	0m	0	11	2	0	250
	2m	0	5	14	0	200
	5m	0	0	0	0	500
ガラク	0m	0	0	0	0	800
	2m	0	0	0	0	500
	5m	0	5	0	0	500
津波防波堤 内側	0m	0	0	0	0	2,500
	2m	0	0	0	0	2,700
	5m	0	5	0	0	500
市場前	0m	0	12	0	0	1,000
	2m	0	0	0	0	2,500
	5m	0	0	0	0	300